



2019年号 青峰同窓会会報



御在所岳の秋景色

INDEX

会長挨拶……………	1	転出教員挨拶……………	12
シンクロ最終公演会のお知らせ……………	2	■ 江崎 尚和(材料工学科)	
卒業生便り……………	3	■ 桑野 一成(教養教育科)	
■ 鈴鹿高専親睦ゴルフコンペ		■ 青峰同窓会SNSとSHTNウェブページの終了	
■ 卒業生の集い		■ 高橋正博名誉教授の受章	
■ 工化応援旗の復刻		■ 矢野弥先生のお別れの会	
退職教員挨拶……………	9		
■ 田村 陽次郎(教養教育科)			
■ 佐脇 豊(機械工学科)			
■ 浦尾 彰(電子情報工学科)			
■ 森島 佑(電子情報工学科)			

誌 名
青峰同窓会会報

発行日 2019年8月
発 行 国立鈴鹿工業高等専門学校 青峰同窓会 広報委員会
〒510-0294 鈴鹿市白子町 TEL:059-386-1031 E-mail:almn@suzuka-ct.ac.jp



ご 挨拶 ～第2代校長 矢野弥先生のご逝去を悼む～

青峰同窓会 会長 小手川 智 (42C卒)

同窓会会員の皆様にはお変わりなくご健勝のことと存じます。

悲しいご報告をいたします。第2代校長矢野弥先生が令和元年7月5日にお亡くなりになりました。94歳でした。昭和37年鈴鹿高専の創立に伴ない名古屋大学から工業化学科教授として着任されました。創立時には現在のような立派な校舎や施設は無く旧海軍航空隊飛行機格納庫の中にプレハブ仮校舎を建てて学校運営をされました。まさにゼロからの出発でした。入学生132名と共に学校の伝統を作っていくという大きなビジョンを掲げておられ昭和44年～48年学生主事、49年～51年教務主事、昭和52年4月に初代校長 木村和三郎先生から第二代校長を承継し昭和60年3月まで校長の重責を担ってこられました。着任されてから校長退官までの24年間に現在の鈴鹿高専の礎を築いてこられました。退官された後も卒業生との交流には熱心であり同級会等のお誘いには必ず出席され「我が子」に接するかのような心でその成長を楽しんでおられました。剣道部の「寒稽古」には80歳を超えてからも出席し学生と共に学校にて寝泊りされておりました。恒例の卒業式には88歳まで出席されました。鈴鹿高専を立ち上げて、育て上げて、いつまでも見守り続けるお気持ちをお亡くなりになるまで持たれておられました。改めて矢野弥先生の功績に感謝して、心からご冥福をお祈り申し上げます。

さて、母校の話題を提供いたします。今年の「高専祭」は11月9日(土)10日(日)に開催されます、学生たちの活躍する姿に感動します。卒業生によるイベントも計画しております、久しぶりに恩師に近況報告をされるのも良いかと思います。学校の歴史の展示をしている「50周年記念ギャラリー」にも足を運んでみて下さい。これまでもご報告しておりました「鈴鹿高専テクノプラザ」の企業会員数が123社、特別会員が12社、個人会員が15名で当初の目標の100社を超え企業様との交流が広まってまいりました。

学校プールを廃止することが決まりました。昭和47年に建設され、水泳部による「ウォーターボーイズ」の演技は地元でも有名で惜しむ声があります。廃止の理由は老朽化によるもので改修に多額の費用が必要とのこと。私は数年前から災害について記述してまいりました。豪雨災害、地震等の自然災害が頻発しております、気象庁からは「自分の命は自分で守る」との発言がありました。突然の発災に備えてください。同窓会員の皆様には今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸を祈念してご挨拶といたします。



鈴鹿高専水泳部部長を務めさせていただいております教養教育科の村松愛梨奈と申します。今回、本会報誌において「水泳部」についての記事を書かせていただけないかと、大変嬉しく思うとともに、みなさまにご報告したい内容もございますので、お時間ある際に読んでいただけたらと思います。

さて、まずは現在の水泳部について紹介させていただきます。本学水泳部では、3部門に分かれて活動しております。1つは泳ぐ速さを競う「競泳部門」、1つは飛込みの美しさを競う「飛込部門」、もう1つはダンスや動きで魅せる、シンクロ(ウォーターボーイズ・ガールズ)部門となっております。この3部門に分かれて、全国高専大会やインターハイ、国体、そして公演会などで活躍できるよう、文武両道を目指し、日々努力しております。中でも、シンクロ部門については今年で18年目を迎え、過去には全国高校ウォーターボーイズ選手権への出場や、アーティストのMV、ミュージックステーションへの出演などを経験しており、部活動の範囲に収まらず、多方面で活躍しております。

シンクロ部門では、年1回の学内プールでの公演会をメインに、様々な人から応援をいただき、過去17年もの間、学内外で演技を披露させていただいておりました。今年度も学内外の公演会に向けて練習に励んでいます。

しかしながら、こうして18年目を迎えた今年度で最後となる公演会がございます。実は来年度より学内プールが使用できないことが決まりました。大きな原因としては1)プール施設の老朽化、2)下水道設備の刷新に伴う水道代の高騰が挙げられます。学内プールの維持に向けて議論を重ねたのですが、やはり学校としての経済的な事情もありまして、プールを廃止せざるを得なくなりました。

今まで幾多の危機を乗り越えてきましたが、今回ばかりはそれも難しく、学内プールを使えるのは今年度で「最後」になります。数々の思い出と歴史が詰まった学内プールの「最後」ですので、学生たちとも相談し、最後の挑戦としてシンクロ単独公演会を開催することに決定致しました。今まで支えていただいた地域のみなさま、保護者の方々、水泳部のOB・OGなど、多くの方々に学内でのシンクロ公演を見ていただき、感謝を伝えたいという思

シンクロ最終公演会のお知らせ

水泳部部長 村松 愛梨奈

いも込めて、鈴鹿高専水泳部のシンクロ単独公演会を8月に開催いたします。

【鈴鹿高専水泳部 シンクロ単独公演会】

日 程：2019年8月31日(土)午前・午後各1回公演
場 所：〒510-0294 三重県鈴鹿市白子町
鈴鹿工業高等専門学校プール

※詳細は決定次第、水泳部HPに掲載予定
また、今年度は単独公演会だけでなく、出来るだけ多くの方に演技を見ていただくためにも、鈴鹿市水泳協会主催の「水の祭典」でも公演をさせていただくこととなりました。

【水の祭典 in MIE】

日 程：2019年9月15日(日)
場 所：〒510-0261 三重県鈴鹿市御園町1669
鈴鹿スポーツの杜水泳場 25mプール
備考：鈴鹿市水泳協会主催の水の祭典イベント内において公演を実施します。

どちらの公演も、見ていだけで楽しい!笑顔になる! かつこいい!かわいい!楽しそう!そんな想いがあふれてくる公演会にしたいと考えています。ほんの少しの時間ですが、学生たちの青春の1ページを皆さまと共有できたらと思います。そして、今まで応援していただいた卒業生の皆様に、公演を通して「感謝」を伝えたいと思っています。

この同窓会会報が皆様の目に触れるタイミングでは、すでに単独公演会は終了しているかもしれません。もし、水の祭典前に見ていただけているのであれば、ぜひ鈴鹿スポーツの杜水泳場にご来場いただけたら嬉しく思います(詳細は鈴鹿市水泳協会HPに掲載予定)。

学生たちにとっては、多くの方に感謝の気持ちを伝えることで、いかに自分たちが多くの人々に支えられ、過ごすことができているのかを改めて実感することができる貴重な機会になると思います。人生において、みんなひとりでは生きていけません。自分のために、そしてまわりの人のために何ができるのかを考えられるように成長し、今後社会に出て行って活躍してほしいと考えております。ぜひ、本学水泳部の応援よろしく願いいたします。



参加者募集

第8回「鈴鹿高専親睦ゴルフコンペ」

会場 榊原ゴルフ倶楽部

津市白山町三ヶ野133番 電話番号：059-264-0050
伊勢自動車道・久居10km以内

日時 令和元年10月12日(土)

東・西・南同時スタート9時3分各5組。
セルフ朝・昼付き 10,200円

下記の連絡員の方に参加のお申し込みをお願いします。

(お断り) 紙面の都合上、氏名は敬称略としています。

37C 小手川智 38M 宮本哲夫 39C 石塚 進 40M 鈴木幸行 42C 加藤友治
43C 中野郁雄 44C 井坂宗晴 45H 藤川勝彦 46C 長坂伸司 47M 寺本勝治
48M 室 眞市 49M 寺本正和 50H 伊藤 彰 52H 三林 浩 56C 長岡信治
57H 鏡 誠 58M 中島昌彦 59E 坂井浩美 60C 藤島智文 63S 一柳 功
H05S 田畑華奈子

連絡先の分からない方は、事務局7期43E 伊藤栄一の自宅PCへ

itoeiichi1324c@yahoo.co.jp

鈴鹿高専〇〇〇〇(氏名) 〇〇年入学〇〇学科 教職員の方は〇〇科

※くれぐれも迷惑メールにならないよう件名「第8回鈴鹿高専親睦ゴルフ参加希望」をご記入下さい。

鈴鹿高専親睦ゴルフコンペに名称変更

名称を「鈴鹿高専OB 親睦ゴルフコンペ」から以下理由により変更しました。

- ① OBだけでなくOGにも参加案内し全入学生を対象としている。
- ② 今回から恩師や現役の参加も可能とし幅広い親睦機会として運営する。



躊躇している方、みんな鈴鹿高専の仲間です。気軽にお問い合わせください。特にまだ現役でバリバリの若手や女性の方の参加を増やしていきたいと考えています。



第6回鈴鹿高専OB 親睦ゴルフコンペ報告

平成30年10月13日(土)
鈴鹿カントリークラブ中コース

スタート：
アウト・イン 8：23～ 同時スタート
各8組 参加は49名。

第1位 6期42C 野崎 博史
第2位 11期47M 寺本 勝治
第3位 12期48M 室 眞市

優勝者表彰

前回優勝の42C田中氏から
42C野崎氏へ



OUT

組	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名
1	43	C	中野郁雄	43	C	大井 豊	43	C	松尾文夫	60	C	藤島智文
2	37	M	小島 肇	38	M	横山義彦	38	M	宮本哲夫			
3	45	M	山口 貴	45	M	鈴木 誠	45	M	川口宗弘	45	M	南部 勤
4	42	C	野崎博史	42	C	諸戸 眞	42	C	田中高好			
5	42	C	杉森正秋	42	M	原 雅人	45	H	千種敏一	45	H	西川幸嗣
6	58	M	中島昌彦	63	S	一柳 功	H01	S	蔵城 剛憲			
7	41	M	鈴木幸行	41	M				中谷 孝	42	H	稲垣正則

IN

組	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名
1	37	C	小手川智	43	E	伊藤 眞	43	E	川原康夫			
2	45	H	藤川勝彦	45	H	池田義彦	45	H	山中伝男	45	H	松見秀敏
3	42	H	久保田隆志	42	C	加藤友治	46	C	長坂伸司			
4	49	M	寺本正和	49	M	望月哲弥	48	M	室 眞市	49	M	柳川和英
5	47	M	相地敏之	48	M	安田忠利	47	M	小林茂樹	47	M	寺本勝治
6	52	H	三林 浩	56	C	鈴木 茂	56	C	長岡信治	56	C	水野 淳
7	50	C	打田 武	50	H	伊藤 彰	43	E	伊藤栄一			

編集責任者 7期43E 伊藤 栄一



第7回鈴鹿高専OB 親睦ゴルフコンペ報告

平成31年4月19日(金)
三重カンツリークラブ

7回目で、現在事務局の7期生よりやっと優勝者が。しかも第3位もゲット!!
その上優勝者は、E(電気科) これもお初。

第1位 7期43E 伊藤 眞
第2位 13期49M 寺本 正和
第3位 7期43C 中野 郁雄

過去の優勝者は、
学科：M(機械)：3名 C(化学)3名
入学年次：6期3名 9期3名
第1回：9期45M
第2回：6期42C
第3回・4回：9期45M
第5回・6回：6期42C

こぼれ話

連続「次回頑張ります」獲得の
1期37C 小手川氏今回見事に脱出

前回優勝者
野崎氏

今回優勝者
伊藤氏
あれ？優勝CUPは？
自宅に大切に保管とは…？



OUT

スタート時間	組	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名
8:30	1	43	C	中野郁雄	43	C	鳥居信吾	52	H	三林 浩	56	C	鈴木 茂
8:37	2	45	M	山口貴③④	45	H	松見秀敏	37	M	長谷川俊男	37	C	星野克明
8:45	3	42	C	杉森正秋②	42	C	諸戸 眞	42	C	稲垣正則	42	C	櫻田正彦
8:52	4	41	M	鈴木幸行	41	M	平野広行	47	M	寺本勝治			
9:00	5	45	H	藤川勝彦	45	H	池田義彦	42	C	田中高好⑤	42	E	藤村勝久
9:07	6	38	M	宮本哲夫	38	M	横山義彦	49	M	柳川和英	49	M	望月哲弥
				63	S	一柳 功	58	M	中島昌彦				

IN

IN														
スタート 時間	組	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	入学	学科	氏 名	
8:37	1	43	E	伊藤 眞	43	E	望月照文	47	M	小林茂樹	47	M	山中 広	
8:45	2	42	C	野崎博史⑥	42	M	疋田一美	後半事務局 伊藤栄一が入る	H05	S	田畑華奈子	H05	S	久保千穂
8:52	3	37	M	小島 肇	37	C	小手川智	43	C	大井 豊	43	C	松尾文夫	
9:00	4	45	M	鈴木 誠	45	H	山中傳男	48	M	安田忠利	49	M	寺本正和	
9:07	5	45	H	長谷川仁	45	H	西川幸嗣	42	C	浜口精隆	43	E	伊藤栄一	
		45	H	千種敏一										
—	6	42	H	久保田隆志										

氏名②～⑥：優勝した大会名(②：第2回)

平成30年度10月21日(日) 高専祭当日の卒業生の集い

入学年別 (名簿記載者)

年次	名	年次	名	年次	名	年次	名	年次	名
S37	1	S47	2	S56	1	H05	5	H17	3
S39	1	S48	1	S57	1	H06	1	H20	4
S40	1	S49	3	S58	1	H08	1	H21	5
S42	2	S50	1	S59	2	H10	2	H22	1
S43	2	S52	1	S60	1	H11	1	H23	3
S44	2	S53	2	S63	1	H12	2	H24	4
S45	2	S54	2	H03	2	H13	1	H25	2
S46	5	S55	2	H04	1	H16	1	計	76

学科別 (名簿記載者)

M 機械工学	10
E 電気工学	13
E 電気電子工学	1
I 電子情報工学	5
C 工業化学	26
C 生物応用化学	2
H 金属工学	7
S 材料工学	12
計	76

来校状況より

- ① 卒業生が7300名(鈴鹿高専ホームページ)で、来校率=76/7300 →1.04%
- ② 76名の内、卒業30年以上経過された方の来校率=33/76→44%。
- ③ 昭和58年以前に入学の方:33名。
- ・懐かしい思いを強く持っておられる方、親族や知人が高専関係者、業務での繋がり、あるいは今の高専についての期待(興味)を持ってのご来校では。
 - ・中でも1期～10期生までは16名来校(16/76→21%)。創立(創学)初期の熱い思いと、鈴鹿高専卒としての矜持を強く持たれておられるのではと感じます(EngineerGentlemanですね)。(1期～10期生:S37～46年入学)
 - ・実際は指導していただいた先生方のおかげで、我々が今ここにあるのです。(わたくしとしては剣道の杉野先生、数学の加藤先生、材料の岡田先生、哲学の野田先生をはじめ多くの先生に感謝です。)
- ④その他 今年も49M(1969入学機械科)は同窓会を開催し交流を深める予定です。 8期生 44年入学 機械工学 小野

アンケートの趣旨

- 勤務先での高専卒・鈴鹿高専卒の繋がりについて
- 卒業時の学年会・クラス会・クラブの実施状況について
- 同窓会活動並びに同窓会誌「青峰」について
- イノベーション交流プラザの認知度について
- 折角女性が増えてきたので女性(OG)会を設立しては?
- 「卒業生の集い」企画・実施しますが参加しますか?

皆さん、やはり懐かしそうなお顔をしていました。7期生の私にとって高専祭は、学園紛争で失った教職員と学生との信頼関係回復の1つとなるイベントの場であったと今でも鮮烈に記憶しています。催しの内容は当時と殆ど同じですが、イベントを作り上げていく思いは全く当時とは異なっているのではと。貴重な青春時代の時間を共有した仲間と『高専祭』を活用し旧交を深めては如何でしょうか。

7期生 43年入学 電気科 伊藤



受付左から 片山・西尾・伊藤

アンケート

H30年高専祭に来校された卒業生にお聞きします。〈まとめ〉

今回の高専祭で来校された卒業生の方を対象に下記の設問でアンケートを実施しました。結果は、60名の方にお願ひし48%の29名の方から回答戴きました。但し設問の内容により一部に未回答があったことから、回答自体を止められた方が、おられたと事務局は反省しています。次回に反映し出来るだけ多くの方から回答が頂けるように改善します。

1. 入学年次と学科	〇〇年入学	29	〇〇学科	29
2. 卒業後に何回程母校を訪問されましたか	〇〇した	27	していない	1 未回答
3. 訪問の理由(複数回答可)	高専祭見学	23	倶楽部応援	7 学科訪問
4. お勤めの会社に高専卒は	いる	11	いない	2 未回答
同 到高専卒会は	ある	2	ない	24 未回答
5. お勤めの会社に鈴鹿高専卒は	いる	15	いない	0 未回答
同 到鈴鹿高専卒会は	ある	2	ない	14 未回答
6. 同学年会は開催して	いる	5	いない	13 未回答
クラス会は開催して	いる	4	いない	13 未回答
7. クラブは何部でしたか	〇〇部所属	23	無所属	0 未回答
8. // ではOB会を開催して	いる	11	いない	14 未回答
9. 高専祭の開催を何で知りましたか	青峰同窓会報	8	他	16 未回答
10. 青峰同窓会の一員である認識は持って	いる	19	いない	9 未回答
11. 青峰同窓会がどのような活動をしているか知って	いる	14	いない	14 未回答
12. 青峰同窓会報が会員に配布されている事を知って	いる	23	いない	5 未回答
13. 青峰同窓会報は届いて	いる	22	いない	6 未回答
いない方? 名の内6名の方から送付の依頼がありましたので編集長に連絡しました。				
14. イノベーション交流プラザ(同窓会館)が有る事知ってた	13	知らなかった	16	未回答
15. <女性の方のみに質問>同窓会活動にOG会は必要	2	不必要	3	未回答
16. 来年も「卒業生の集い」を企画・実施します。参加する	15	参加しない	6	未回答

<詳細>

入学年	41-1、42-1、43-3、44-2、45-2、46-2、47-2、49-2、55-1、56-1、58-1、60-1、H1-1、H3-1、H5-4、H11-1、H12-1、H21-2、未記入-1
学科	M-5、E-7、C-4、H-5、情報-3、材料-4、未記入-1
クラブ	ESS-1、陸上-2、音楽部-3、柔道-7、剣道-1、野球-1、弓道-1、水泳-1、ハンド-1、バスケット-2、茶道-1、未記入-6
訪問回数	1～5回-18、10回-6、20回-1、30回～-2
訪問目的(複数回答)	高専祭見学-23、クラブ応援-7、学科訪問-3、テニス大会-1、未記入-2

昨年の高専祭でイノベーション交流プラザ【旧3寮】にて卒業生の集いを行いました。

イノベーション交流プラザ1階には鈴鹿高専の歴史がわかる展示室があり、開校時の旧海軍飛行場格納庫での入学式の風景や、懐かしい先生方、当時のイベントの写真などがたくさん展示され、学生時代にタイムスリップします。また開校から現在に至るまでの鈴鹿高専の移り変わりなども見ることができ参加いただいた卒業生の方々も懐かしく当時の思い出に触れていただけたようです。

また同プラザ3Fにて交流会を開催し、短い時間でしたがジュース、お茶、お菓子をつまみながら古い卒業生から最近の卒業生まで年代に関係なく思い出話や近況報告などに話が花咲きました。

令和元年卒業生の集いのご案内

鈴鹿高専卒業生の皆様、是非高専祭に足を運んでいただき、在学時代を懐かしんでいただくとともに、相互の交流を深めて下さい。今年も下記の内容で『卒業生の集』を実施します。

記

日時 11月10日(日) 10時～15時

場所 イノベーション交流プラザ【青峰寮 旧3寮：平成26年3月竣工】※

※ ■1階の記念ギャラリーには鈴鹿高専の歴史を物語る貴重な物品や写真が展示してあります。

- ・山口誓子先生の直筆校歌、記念誌、アルバム、写真パネル等
- ・青峰同窓会会報も準備しました

■3階には休憩スペースがあります。ジュース・お茶でリラックスしながら思い出話や近況報告などで交流を深めてください。

茶華道OBOGの集いご案内

11月9日(土)、10日(日)在校生の野点でお茶をいただきながら、懐かしい高専時代の思い出に浸りませんか。高専祭には加藤昭子先生にもご来場いただく予定です。ぜひみなさんと楽しいひと時をすごしたいと思っております。

また土曜日の夕方には白子駅近くの「東樽」にて親睦会も予定しております茶華道OBOGのみなさん多数のご参加をおまちしております。

参加ご希望の方、興味のある方は下記連絡先までご連絡ください。
連絡先 kato-school@oboe.ocn.ne.jp (担当 21期57C 片山)
あらためて、メールやLINEなどで詳しい情報を配信させていただきます。



『今年も弘道館で顔合わせ』柔道部OB会ご案内

11月10日(日)

- ① 13時イノベーション交流プラザ 3階和室に集合
- ② 「弘道館」へ移動
- ③ 15時～白子『東樽』で懇親会

【昨年の報告】

参加者(入学年)、5期41C 立磨、7期43E 伊藤(栄)、43H 橋川、8期44E 栗田、10期46M 江間、11期47E 伊藤(知)、13期49C 太田(池田)、49M 柳川、16期52H 三林、20期56H 森、21期57C 片山、13時にイノベーション交流プラザ3階和室に集合し、弘道館へ移動。名札をみんなで整理し並び替え、立磨先輩の号令で故小藪先生の肖像画に一礼。全員で乱取り・・・ではなく昔話を。名札を入替して現在部員が5名？全員で歩いて懇親会の会場「東樽」へ。



お～い順番が違うぞ！

工化応援旗の復刻

加藤 友治 (47C卒)

鈴鹿高専には昔、「工業化学科の旗」がありました。通称「工化応援旗」と呼ばれ、校内で行われる学科対抗の各種体育大会や同門会の集いに工業化学科のシンボルとしていつも使われていました。学校設立初期の工業化学科の先輩方には懐かしく、思い出深いものがあると思います。私も、運動会で工業化学科が総合優勝すると当時の食堂で応援旗を広げて掲げ、その前で先輩方と共に祝勝会を開いたことを思い出します。

鈴鹿高専20年史にこの旗のことが記載されています。デザインは1期生の野村英司さんで、本校スクールカラーの濃青色と学科の色である青春の情熱を象徴する赤色が使われ、中央部に工業化学科の文字の入ったベンゼン環の六角形5個を白く染め抜かれています。このベンゼン環5個は第1学年から第5学年を表し、工業化学科の団結を示していると書かれています。この工化応援旗は矢野弥先生(元校長)が密かに自費で作られ、突然皆さんの前で披露し、この多環芳香族は実在すると言われたそうです。1期生が第2学年の時で、学生はびっくりするとともに大変喜んだと聞いています。ベンゼン環5個が並んだものは「ペンタセン」として実在し、今では有機半導体として知られ、各種誘導体や有機トランジスタ、有機ELなどにも検討されています。

このような由緒ある旗ではありますが、いつのまにか見なくなり忘れられていました。しかし昨年、工化応援旗のオリジナルが澤田先生のところに保管されていることを知り、学校へ見せてもらいに行きました。



写真1 工化応援旗(オリジナル)

旗は大切に保管されていたので50年以上経っている割には良い状態ではありましたが、写真1のように色も褪せ、パネルに入っているものの移動も難しい状態でありました。今後の扱いについて工化同門会の幹事会で相談した結果、オリジナルはそのまま保管して



写真2 工化応援旗(復刻)

いただき、代わりに復刻の旗を作り、工化同門会やクラス会などに貸出すことができるようにしようということになりました。経費は工化同門会の繰越金を使うことをご了承いただき作製しました。写真2が復刻された工化応援旗です。

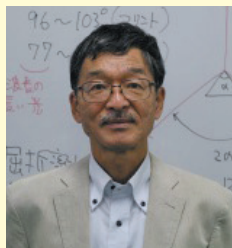
旗の寸法は三脚にポールを立ててもバランスの良い大きさということで、縦90cm×横135cmとオリジナルより少し小さくしました(オリジナル旗の実測は縦102cm×横145cm)。赤色部分はオリジナルより少し明るく、青色は校旗をお借りして色合わせをしました。字体については、オリジナルは手書きと思われましたが最もよく似た書体にし、「工」と「化」はオリジナルに合わせて大きくしました。生地については耐久性のある化学繊維が入ったものを選び、裏表ともきれいに見えるように両面を張り合わせる2枚組にしました。ポールと三脚、そして持ち運びができるようにソフトケースも購入しました。

矢野先生は復刻された工化応援旗を見るのを楽しみにされていました。しかし、残念ながら矢野先生は7月5日に亡くなられましたので、11月2日の矢野先生のお別れの会(プラトンホテル四日市)の時に初めて披露し、先生にも見ていただく予定です。なお、復刻された工化応援旗は私が保管しており、工化同門会やクラス会などにはいつでもお貸しますですので連絡してください。

<連絡先>

加藤友治 Email: tkato@snow.plala.or.jp

退職教員挨拶



■退職にあたって

教養教育科(理科教室) 田村 陽次郎

私は大学院の博士課程を中途退学し鈴鹿高専に来ました。その後35年間の定点観測を無事にさせて頂き、ありがとうございました。物理屋の就職事情は昔も今も良くありません。私が就職したころは名古屋大学だけで100人超のオーバードクターがいました。今はポストクにすり替えられています、安定職に就けないのは同じです。ここに来た理由は、以前、鈴鹿高専におられた物理の今泉先生の強い勧めによります。“何とか研究が出来るポストだ”と信じてやって来ました。鈴鹿に来た時点から私にはポストはいません。自分で研究テーマを立てて、ずっとオリジナルな仕事をしてきました。今、私が若者ならボスの縛りがきつくテーマの自由がないので研究者にはならないと思います。アホなボスの誰でも知っている研究を手伝ってはいは、未来は先細りで、かつ新しい芽は出ないと思います。

この間、研究で世界一を2つ取りました。1つ目はタンパク質の圧縮率を測ろうとして自作した超音波の音速測定装置です。この装置はシング・アラウンド法の改良版で、1cmの溶液で絶対値7ケタの音速測定を可能にしました。成功した理由は簡便な方法で温度を±0.003℃の精度でコントロールする事が出来たからです。それにより試料が以前に比べて何十分の1で済むようになり、様々なタンパクでの圧縮率の測定が可能になりました。この装置は市販品が出るまでの約10年間、世界のチャンピオンデータを出しました。同様な装置を広島大学の月向先生らのグループに寄付しました。彼らは私の10倍以上の仕事をして、タンパクにおける圧縮率の研究という新分野を作りました。学問の進歩に貢献出来てうれしく思っています。もう1つは筋モデルの趣味レーション(シミュレーション?)です。これは校長裁量経費に研究費を取り上げられ、タンパクの仕事が出来なくなっからのもです。以前、鈴鹿におられた斉藤先生、元学生の永戸さんと共著になっている論文(2005)ですが、2008年から2015年の間、分野別で論文ダウンロード数世界一になりました(PubMedによる)。海外から沢山のメールと共にPubMedもジャンクメール指定したため2016年から情報が来なくなりましたが、一時Top10に2本入っていました。評価機関のMarquis Who's Whoはこれらの仕事を認めてくれて2012年以降(今の所2019年まで)、各界のTop3%にあると評価してくれています。ところ

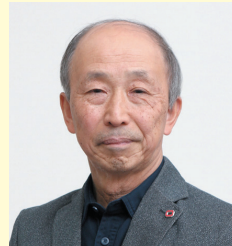
で私は2018年の1月に研究者を辞めました。来年から予算が無くなり、今年研究を進めても論文に出来ないからです。“少くらしい研究が出来るだろう”という鈴鹿に来た理由が無くなったので、来年は再雇用で残りますが、その次の年以降は未定です。鳥かごの蓋は開けられて、自由に飛んで行ってよいのですが、少し飛行訓練が必要です。時間の余裕が欲しいと思っています。

定点観測は立派な統計手段です。物理ではエルゴード性があれば、空間平均と時間平均は同じと言います。当時2年生の研修旅行は、九州へ6日間、往復は大阪から別府までフェリーでした。九州の周遊が終わって別府港を出る時、船から投げられたテープの端を、陸にいるガイドさんが持ってくれます。船が桟橋を離れると一斉に帽子は“さよなら”の声と共に陸に向かって投げられました。一部は陸に届き、残りは海に落ち、かくして帽子は失われました。拾われた帽子は集めて段ボールに詰めて鈴鹿に送り返されました。世の中、廃止した制服を復活させたという例もあり、裸同然で授業を受ける国もある。制服もこれから揺らぐでしょう。初め、ほんの少しの間、給与は手渡しでした。その後、口座振り込みになり、少し変化して、今の形態になっています。これも変化の過程にあり、将来は電子マネーになるのでしょうか。英国の労働者は未だに週給を手渡しでもらっているのだろうか。中国は電子マネー大国になった。物々交換を含めて、全ては同時に在り、時間の中に在る。エルゴードだなあと思います。ものの世界に永遠に安定なものはありません。変化には戦略を持って適応して、学生、教職員の皆様が健康で愉しくありますよう心からお祈り申し上げます。どんな研究にせよ、研究は個人のものです。学生の皆さん、今ならポストになられることを勧めます。しかし、研究に関してはパラダイムシフトが起こる、、、と思う。



■定年退職にあたっての回想

機械工学科 佐脇 豊



本稿を書きはじめたとき、大阪・関西万博2025の開催が決定されました。大阪万博1970が開催されたとき、筆者は中学最終学年の重要な時期であったにも関わらず3回ほど会場へ足を運んだ記憶がありあます。鈴鹿高専進学は選択肢ではありませんでしたが、この時期に工学の道へ進もうと決めるにはなかなか難しいものがあり普通高校に進学しました。地元の大学工学部に入学したとき、鈴鹿高専から赴任されていたK先生が担任となり、機械工作法や機械工学実習などを厳しく指導された記憶があります。まさか同じ名称の授業、実習を自分が鈴鹿高専で担当することになろうとは思ってもみなかったことです。

平成18年にオールドルーキーとして採用され教育研究生活の三分の一にあたる13年間に鈴鹿高専に奉職させていただいたことになり、このたび平成最後の年に定年退職を迎えることとなりました。着任当初は担任業務、寮務やクラブ顧問などはじめてのことが多く多少とまどいしましたが、皆様のおかげでなんとか無事に勤めることができました。

着任4年目の平成21年には学科長を拝命し4年間務めさせていただきました。着任間もない自分に学科長が務まるのか不安もありましたが、進路指導では学生はスuisui内定あるいは大学合格を決めてくるので不安は一掃されました。学科長時代には3名の新任教員を迎えることができました。平成24年の本校創立50周年では、記念誌向けに「機械工学科のこの10年のあゆみ」の原稿作成や各種の行事が盛大に行われたのがついこの間のように思われます。

クラブ活動においては音楽部を担当しました。着任2年目に主顧問のY先生が転出され、いろいろな成り行きから主顧問を任されたこと(学科長時を除く)は不慣れに輪をかけた状態となりました。最初は楽器の名前もわからずとまどいましたが、夏の吹奏楽コインクール、秋の高専祭での青空コンサート、定期演奏会、冬のアンサンブルコンテスト、夏、春の合宿などの活動を通していろいろ勉強することができました。本校創立50周年に遅れること3年、平成27年には50周年記念定期演奏会演奏会を写真部や美術部とともに開催し、多く

のOB、OGの方にもご参加いただき思い出深い定期演奏会となりました。

平成26年下半年には築50年の機械工学科棟が耐震改築され、これまでレトロな家具や実験装置に囲まれていた状態から、全てが一新されより快適な環境で教育研究をすることができるようになりました。改築の半年間、機械工学科の教職員は2グループに分かれて机を並べる共同生活を送りました。相部屋生活は助手時代以来でしたが、今となっては懐かしい思い出の一つです。また、着任当初の工場長(現クリエーションセンター長)の時には、実習工場が改築され簡易な鉄骨建屋から、最新の工作機械が設置された空調完備の建屋に変身し、名称もクリエーションセンターとモダンなものになりました。

秋の高専祭においては、学生による創作展示物には感心させられました。5年生が学園祭のトリをつとめる「メモリーズ」で普段とはちがうイキイキとした学生の姿を見るのも楽しみの一つでした。研究面では機械加工に関する分野に従事してきました。もともと「数値解析法の応用」に関心がありましたので、シミュレーション中心の研究となりました。小生の体力、能力不足のため研究らしい研究ができなかったことを遺憾に思っております。

13年間の在職の間、鈴鹿高専周辺の状況もかなり変化しました。周辺の空き地は全て住宅地となり家々が多く立ち並ぶようになりました。惜しむらくは正門前から見えた昭和の戦争遺産である航空機格納庫が撤去されたことです。思わず教養教育科棟から写真を撮ったのをおぼえています。退職後も再雇用で引き続きお世話になります。これからの鈴鹿高専および同窓会のますますの発展を祈念いたしまして、退職の挨拶とさせていただきます。



音楽部卒業アルバム撮影時のひとこま(最前列左端が筆者)

■退職にあたり

愛知淑徳大学 人間情報学部（電子情報工学科） 浦尾 彰 (h13I卒)

青峰同窓会の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平成31年4月より愛知淑徳大学人間情報学部に着任致しました。鈴鹿高専では、平成21年10月より9年半お世話になりました。在職中、皆様のご支援とご協力によりまして、充実した日々を過ごすことができましたことを深く感謝しております。現在、愛知県長久手市のキャンパスで主に情報システム開発に関わる授業を担当しながら、これまでの3倍程度の人数に増えたゼミ生と卒業研究に取り組んでいます。人間情報学部は文学部図書館情報学科を改組

してできた学部であり、在校生の8割は高校時代文系であったという環境の中で、どのように情報系の内容を教えていくのか思慮を重ねる日々を過ごしています。本稿を書き始めた時期に、鈴鹿高専のクラウドファンディングが目標金額に達したという話題が聞こえてきました。中の人であった立場からすると、この成功事例を喜ぶだけではなく、全国の高専に波及する負の影響を憂慮せざるを得ませんが、先進的な取り組みとともに、鈴鹿高専が今後なお一層のご発展されることを心より祈念致しております。

■退職にあたり

東北学院大学 工学部 情報基盤工学科 講師（電子情報工学科） 森島 佑

教職員のみなさま、同窓会のみなさま、ご無沙汰しております。このたび鈴鹿高専を退職し、平成31年4月より東北学院大学工学部に着任いたしました。鈴鹿高専では平成26年4月より平成31年まで5年間お世話になりまして、在職中にはみなさまより格別のご支援、ご厚情を賜りまことにありがとうございました。5年という数字は高専生にとっても縁の深い数字であり、一緒に高専にやってきた学生たちが卒業までに日々頼もしく育っていく様子は、思い返してみれば非常に感慨深いものでした。

東北学院大学は宮城県仙台市、多賀城市に3つのキャンパスがあり、私が勤務している工学部は仙台市の北東に隣接する多賀城市にキャンパスがあります。こちらに来てから伺ったのですが、かつて多賀城は「西

の大宰府、東の多賀城」と呼ばれる奈良時代の拠点だったそうです。本学は明治19年に設立された仙台神学校をルーツに持ち、キリスト教教育を建学の精神として掲げています。本学では大学全体では1万人を超える学生が学んでおり、工学部だけでも約2000人の学生が在籍する大きな組織でして、環境や文化の違いなど日々新たな発見があります。

現在は、科学技術に関する概論の授業を担当しながら、実験や卒業研究、研究室立ち上げの準備など、慌ただしい毎日を送っています。また、高専祭や研究などで鈴鹿にお伺いする機会もありますので、その際にもお目にかかれればと思います。東北の地より、益々のご活躍を祈念いたしますとともに、みなさまのご健勝をお祈り申し上げます。



多賀城キャンパス



仙台駅

■転出教員挨拶



■九州、有明より

有明高専校長（材料工学科） 江崎 尚和 (52H卒)

令和に元号が改まる1か月前、25年間教員生活を送った鈴鹿高専を去り、有明高専に校長として赴任しました。鈴鹿高専の卒業生としては2期生の斎藤正美先生が米子高専の校長になられて以来、2人目の高専校長になると思います。有明高専は福岡県大牟田市にありますが、熊本県との県境に位置し、寮は熊本県という面白い立地になっています。学校のすぐ近くには世界文化遺産の一つに登録されている「三池炭鉱宮原坑跡」があります。

赴任後すぐに有明の同窓会会長はじめOB教職員との懇親会がありました。毎年7月末に「大蛇山祭り」という伝統行事があるのですが、学校と同窓会が合同参加するなど、地域の伝統文化を通じての深いつながりも築かれています。この原稿の投稿から10日後に開催予定ですので雰囲気をお伝え出来ないのが残念です。大牟田には三井系の企業がたくさんあります。お仕事や高専生の求人などで近くにお越しの際はぜひご一報下さい。

■新任教員挨拶



■着任のご挨拶

教養教育科 講師 桑野 一成

本年度から教養教育科(数学教室)の講師として着任いたしました桑野一成(くわのいつせい)と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。出身は新潟県で、2012年に新潟大学大学院自然科学研究科で博士(理学)の学位を取得しました。その後、2年間新潟大学で研究員を務め、2014年からは、神奈川大学工学部情報システム創成学科に助教として着任し、5年間教鞭をとりました。ここでは主にプログラミングやデータ解析を教えておりました。

私の研究分野は、応用数学の1つである「ゲーム理論」になります。ゲーム理論は、主に経済学や経営学などで用いられ、マーケティング分析や経営戦略の立案に役立てられていました。最近では、ネットワークへの侵入を防ぐためのシステム設計など、セキュリティ分野にも応用されるようになってきています。様々な社会現象や人のやりとりを、数学を使って分析することに面白さを感じています。現在取り組んでいるテーマは「集団内でルールが構築されるプロセスの分析」です。例えば、「資源を皆で均等に分かち合う」という

ルールはどのような条件下で実現するのか、そのルールは集団内で採用され続けるのか、などをゲーム理論の観点から分析しています。数学的な理論解析だけでなく、シミュレーションや実験も必要になるため、研究を進めるのは大変ですが、こうした分析は、より良い社会を実現することに役立つと信じて取り組んでいます。

この度、ご縁があつて鈴鹿高専に着任することとなりましたが、高専教育に携わるのは初めてで、しかも三重県に来るのも生まれて初めてという、右も左も分からない状態で新生活が始まりました。現在、着任から3か月近くが経ちましたが、相変わらず分からないことや戸惑うことが多く、教職員の方々や学生たちから学ぶ毎日です。大変な日々ではありますが、学生たちの笑顔に癒され、懸命に問題に取り組んでいる真剣な姿に奮い立たされることで何とか乗り越えられています。

最後になりますが、鈴鹿高専のさらなる発展に貢献できるよう、精進してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

鈴鹿高専青峰同窓会SNSと 鈴鹿高専ヒューマン&テクノロジーネットワークウェブサイト 終了のお知らせ

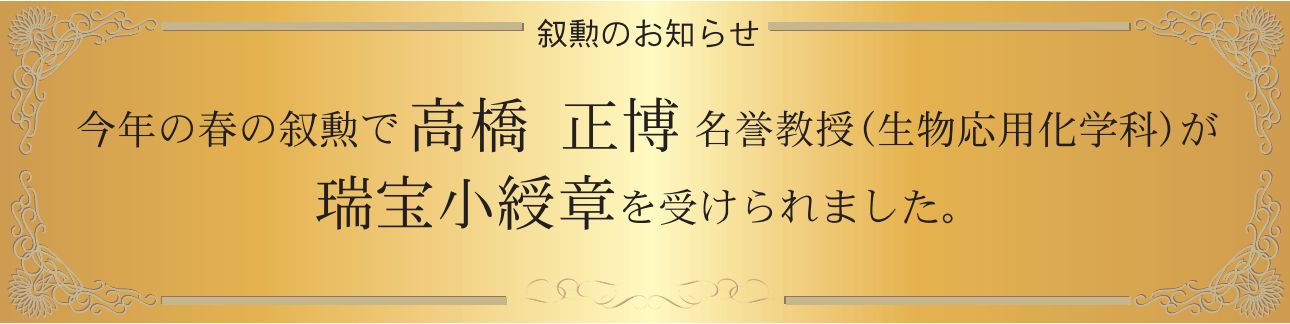
これまで、同窓会活動の一環として、鈴鹿高専青峰同窓会SNSと鈴鹿高専ヒューマン&テクノロジーネットワーク (SHTN) のウェブページを提供してまいりました。しかしながら、現在のSNSの状況や同窓会の運営の見直しを理由に2019年11月末に鈴鹿高専青峰同窓会SNSサービスの提供と鈴鹿高専ヒューマン&テクノロジーネットワークのウェブページの終了をさせていただきます。これまでご利用いただきまして、ありがとうございました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



<http://seiho-dosokai.jp/>



<http://www.suzuka-ct.ac.jp/sangaku/shtn/index.html>



矢野弥先生 お別れの会ご案内

拝啓 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます
さて、このたび令和元年7月5日にご逝去されました矢野弥先生の「お別れの会」を執り行い、生前のご功績とご活躍を皆様とともに偲びたいと存じます。
ご多用中、誠に恐れいりますが、何卒ご臨席下さいますようお願いかたがたご案内申し上げます。敬白

主 催： 鈴鹿高専工化同門会
日 時： 令和元年11月2日(土) 13時～15時30分
会 費： 10,000円(当日、受付にてお支払い下さい)
場 所： プラトンホテル四日市

三重県四日市市西新地 7-3 TEL:059-352-0300
アクセス： <https://www.platon-hotel.co.jp/access/>
駐車場が狭いので公共機関のご利用をお願いします

参加申込： 下記 website 又はハガキ(必要事項を記入)でお申込み下さい
パソコン・携帯電話： <https://forms.gle/t78pQG2nuyu9FacJ6>
ハガキ： 〒510-0064 三重県四日市市新正 1-1-18 加藤友治(6期生)
(記入必要事項： 名前、高専との関係、入学年度、学科、電話番号)
*お手数ですが会場準備の都合上10月10日までにご回答賜りますようお願い申し上げます。
ご出席の皆様におかれましては、平服着用にてお願いします。

問合せ先： 小手川智(1期生) 090-2572-5690

平成30年度青峰同窓会会計報告		
収入の部	摘 要	金額(円)
	平成29年度からの繰越金	28,094,437
	平成30年新入会員(29年度卒業生) 入会金・終身会費(207名)	2,277,000
	預金利息	2,081
	合 計	30,373,518
支出の部	摘 要	金額(円)
	会報発行経費	1,033,924
	SNSサーバー構築費・利用管理費	195,480
	事務費	34,448
	先進的エンジニア育成基金寄付(30年度分)	1,000,000
	平成31年度への繰越金	28,109,666
	合 計	30,373,518